

(別紙資料2)

平成23年度学校業務改善に係る取組状況

洲本市立青雲中学校

1 学校業務改善にかかる校内委員会について

(1)名称 学校業務改善推進委員会

(2)構成 校長、教頭、各学年主任、生徒指導担当教員、教科担当代表、事務職員、  
情報教育担当教員

(3)開催状況

- ・年度当初に数回開催し、年度目標と計画の作成。
- ・業務改善に係る提案があるときには職員会議前に開催し案の検討をしている。
- ・年度途中の評価と改善策検討のために不定期に開催。

2 取組状況

(1) H23 取組計画について

前年度取り組みの反省を参考にし、今年度さらに改善を加えながら継続する。また、今年度新たに通知表、指導要録等の電子媒体化と効率化を実現する。

(2) 現段階の成果

校務における文書類はすべて電子化され、校内 LAN による共有サーバ内で適切に整理されている。ICT 関係のルールブックも作成されており混乱なく利用されている。また、通知表は1学期より順調に電子媒体化が済み、その後大きな混乱もなく作成された。

情報セキュリティのため職員全員に個人用の USB、生徒の成績・個人情報用の学年ごとの USB によりデータ管理し、それぞれ金庫で適切に保管されている。

(3) 現段階の課題

ICT 化の推進は順調であるが、機器の古さによる性能不足、学校業務が多様化する中、ソフトを充実していく必要性を感じる。また、ハード面は充実してもそれを使う教職員の ICT 面でのスキルアップのための研修を増やす必要がある。

また、ノー部活デーやノー会議デー、ノー残業デーもかなり定着してきたが、教職員の意識改革はさらに必要である。

(4) 年度末への取組

今年度予定の指導要録の電子化を年度末に向け開発中である。また、学校評価の中で新たな反省点や改良点を整理し次年度に向けた計画の策定を図る。

3 自校(推進校)の取組を、市内各学校で有効活用のためのアドバイス

ICT 関係が重要なカギを握るため、情報教育担当者を中心とした市内レベルのプロジェクトチームが必要と思われる。